

2024年度事業報告書 (2024年4月1日～2025年3月31日)

特定非営利活動法人 **Hope Tree**

1 活動の目的

この法人は、がんの親をもつ子どもがより健康的に親のがんという状況に対処していく能力を高めるため、支援する医療者等の育成・指導を行い、あわせて親と子どもへの支援及び支援の重要性を広く普及啓発することで、がんの患者さんと家族がより不安少なく過ごせることに寄与することを目的とする。

対象者	事業活動 (アクティビティ)	活動の結果 (アウトプット)	活動の成果 (アウトカム)	社会の変化 (インパクト)
医療者	医療者等に対する育成及び指導	講座開催回数 講座受講者数 受講者の知識向上 受講者の意識変化	臨床現場での患者・家族への効果的な介入 サポートプログラムによる子どもの支援	
がん患者とその家族	がんの患者・家族に対する支援	プログラム開催回数 プログラム参加者数 参加者の意識変化	病気・治療の知識習得 患者・家族 QOL 向上 家族間の良好な関係	がんの患者さんと家族がより不安少なく過ごせる社会の実現
不特定多数の市民	普及啓発 情報発信	イベント参加者数 ウェブサイト訪問数 小冊子読者数 動画視聴者数等	がん患者やその子どもへの理解醸成・向上 教育現場や地域コミュニティ等での子どもへの関わり方の変化	

2 事業の成果

2024年度は、医療者向け育成・指導事業およびがん患者と家族に対する支援事業の各種プログラムは、全て予定通り開催。また、医療・看護・心理等関連学会での発表や論文投稿などにも積極的に取り組んだ1年となった。

個別トピックとしては、がんの親を持つ思春期の子どもへの日本初の体系的なプログラム(Teen CLIMB®)を財団から研究助成を受けて開発。具体的にはTeen CLIMB®ファシリテーター養成講座のトライアル開催による実践者からの適用可能性の検討と、TeenagerへのTeen CLIMB®体験後インタビューによる実現可能性の検討を実施。2025年度から正式な医療者向け講座開催のラインアップの一つに追加する目途をつけた。

また、親をがんで亡くした子どもたちへのグリーフサポートプログラムをHope Treeとして久しぶりに開催。企業の支援も受けて年度内に2回実施。自分が親をがんで亡くしたわけではないことを理解したり、アクティビティを通じて自分の気持ちを表現したり、辛さを感じた時の対処方法を知るなど、親との死別という逆境的体験をもつ子どものレジリエンスを促進する取り組みを実施した。

CLIMB®開催では、自団体の主催だけでなく、他の地域や医療機関での開催も支援。前年の北海道に続き今年は現地の医療者による沖縄初CLIMB®が実現、初回はHope Treeメンバーも現地でサポートを実施。

このような活動内容や支援地域の拡がりもあり、新たなHope Treeメンバーを受け入れ、活動体制を強化した。

3 事業の概要

定款で定める事業	個別事業	対象者	費用額
① 医療者等に対する育成及び指導に関する事業	CLIMB®ファシリテーター養成講座	(看護師・心理職・医師・MSW・CLS 等)	2,082,213 円
	CLIMB®親グループファシリテーター養成講座		
	Teen CLIMB®ファシリテーター養成講座		
	子どもをもつがん患者を支える実践 WS		
	子どもをもつ終末期がん患者・家族への支援 “バタフライ・プログラム”を学ぶワークショップ		
	Hope Tree オンラインカフェ		
② がんの患者・家族に対しての支援事業	CLIMB®開催	がん患者およびその家族(子ども・配偶者等)	683,486 円
	体験版 CLIMB®開催		
	グリーフサポートプログラム開催		
	Teen CLIMB® プログラム体験・インタビュー		
③ がんの患者とその子どもの支援に関する普及啓発事業	Hope Tree フォーラム開催	不特定多数の一般市民	1,158,970 円
	ホームページや動画での情報発信		
	小冊子の配布による情報発信		
	メディアへの掲載を通じた情報発信		
④ その他この法人の目的を達成するために必要な事業	JAPAN CANCER SURVIVORS DAY 出展	患者・支援者等	149,675 円
	AYA 研学術大会 シンポジウム	医療関係者等	
	緩和医療学会学術大会 交流集会	医療関係者等	
	日本教育心理学会総会 講演	教育関係者等	
	日本死の臨床研究会年次大会 講演等	医療関係者等	
	東北広域次世代がんプロ養成プラン 講演等	医療関係者等	
	東アジア看護学研究者フォーラム 発表	医療関係者等	
	日本がん看護学会学術集会 発表	医療関係者等	
	中部国際医療センターがんに関する講演会	一般市民	
	日本グリーフ＆ビリーブメント学会学術大会	医療関係者等	
	国際ジャーナルへの論文投稿	医療関係者等	
(事業費合計)			4,074,344 円

個別事業の詳細(内容・日時・場所・対象者・従事者人員など)は次頁以降を参照ください。

プログラムや職種の略称用語は下記の通りです。

- ・**CLIMB®**(クライム) : Children's Lives Include Moments of Bravery(子どもはいざという時、勇気を示します)の略、The Children's Treehouse Foundation で開発され、アメリカなどで広く用いられているがんの親を持つ子どものための構造化されたサポートグループのプログラム、通常の CLIMB®は主に小学生、Teen CLIMB®は主に中高生が対象
- ・**MSW: Medical Social Worker** (医療ソーシャルワーカー) の略、社会福祉の立場から、患者や家族の抱える心理的・社会的な問題の解決・調整を援助し、社会復帰の促進を図る専門職
- ・**CLS: Child Life Specialist** の略、医療環境にある子どもや家族に心理社会的支援を提供する専門職

4 各事業の活動詳細内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 医療者等に対する育成及び指導に関する事業

CLIMB®ファシリテーター養成講座開催

内容	自施設で CLIMB®開催を希望する医療者を対象とした 2 日間ワークショップ。子どもの発達段階の理論を踏まえたプログラム(親のがんにまつわる気持ちを話し合いや工作を通して表出し、自分一人ではないと感じることで孤立感を軽減することを目指す)を学び、実際にグループで 6 回セッションを経験、自施設でも開催できるように養成する。		
日時	2024 年 6 月 29 日(土)10:30~17:00、30 日(日)9:30~15:30		
場所	東京・御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター		
対象者	医療者等 42 人	従事者人員	4 人
開催の様子	 		

CLIMB®親グループファシリテーター養成講座開催

内容	CLIMB®親グループは、がんである親自身が、子どもと向き合うことができるようになることを目的としたプログラムである。親グループファシリテーター養成講座では、親に対してこのプログラムを自施設で開催できるようアクティビティ体験も交えて体系的に養成する。受講者は事前に教材学習と簡易テストを事前実施の上で当日のオンライン講座を受講。		
日時	2024 年 11 月 23 日(土) 9:30~17:00 (10 月上旬より教材を事前送付し課題事前学習期間を設定)		
場所	オンライン(配信は渋谷ソラスタより実施)		
対象者	医療者等 17 人	従事者人員	5 人
開催の様子	  		

Teen CLIMB®ファシリテーター養成講座開催(トライアル開催)

内容	親や大切な人ががんになってしまったティーンのためのグループ支援(心理社会的介入)プログラムの日本版を完成させるため、過去にCLIMB®ファシリテーター養成講座を受講した医療従事者等を対象に、笹川保健財団研究助成「がん患者を親にもつteenagerを支えるプログラム日本語版の開発」の研究の一環として開催。		
日時	2024年7月13日(土)9:00~17:00		
場所	東京・御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター		
対象者	医療者等 20人	従事者人員	6人
開催の様子	 		

子どもをもつがん患者を支える実践ワークショップ開催

内容	未成年の子どもを持つがん患者への具体的な支援の在り方について学ぶワークショップ。患者との信頼関係の築き方、家族全体のアセスメント、子どもの年齢や病期に応じた介入について、事例検討、アクティビティを交えながら学ぶ。		
日時	2024年5月25日(土)9:00~17:00		
場所	オンライン(配信はステーションコンファレンス川崎より実施)		
対象者	医療者等 50人	従事者人員	7人
開催の様子	 		

子どもをもつ終末期がん患者・家族への支援“バタフライ・プログラム”を学ぶワークショップ開催

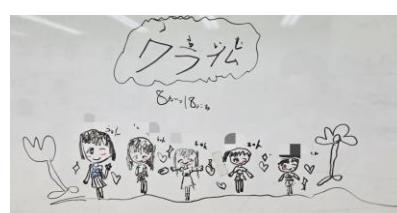
内容	親ががん患者で死別が避けられない子どもに対する教育プログラム。子どもを持つがん終末期患者の心理(アセスメントとアプローチ)、家族の予期悲嘆、子どもの死の理解、子どもへの介入、医療者のグリーフなどロールプレイなどを通じて学ぶワークショップを開催。		
日時	2025年2月15日(土)10:30~17:00、16日(日)9:30~13:00		
場所	東京・御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター		
対象者	医療者等 38人	従事者人員	5人
開催の様子	  		

Hope Tree オンラインカフェ開催

内容	未成年の子どもを持つがん患者とその子どもへの支援について、現場で奮闘している方々と、日頃の思いを語り合う場をオンライン形式で開催。臨床での困りごと、振り返ったいケース、チャイルドサポートに関する想いなど少人数でざっくばらんに話し合う。 AYA Week2025 関連イベントとして開催した。		
日時	2025年3月12日(水)20:00~21:00		
場所	オンライン		
対象者	医療者等 11人	従事者人員	6人
開催の様子	 		

② がんの患者・家族に対しての支援事業

CLIMB® プログラム開催

内容	がんの親をもつ子どもとその親に対する心のケアを目的とするプログラム。 (CLIMB(クライム) : <u>C</u> hildren's <u>L</u> ives <u>I</u> nclude <u>M</u> oments of <u>Bravery) 子ども同士で不安や悲しみ等の気持ちに対処する方法について、工作をしながら話し合う。並行して、親同士で治療や日常生活の不安、子どもとの向き合い方について話し合う機会を提供する。</u>		
日時	2024年7月～8月(計6回)および2025年3月(計3回)各回2時間程度		
場所	東京・目黒／中目黒スクエア		
対象者	のべ6家族(子ども8人)	従事者人員	5人
開催の様子	   		

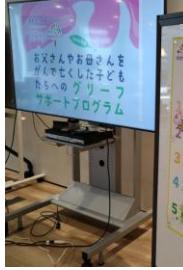
※ Hope Tree 主催に加えて、全国各地域や医療機関での CLIMB®開催支援も隨時実施。

北海道(2024年8月)、沖縄(2025年2月)開催時は、Hope Tree メンバーも現地で支援。

体験版 CLIMB® プログラム開催

内容	過去の CLIMB(クライム)プログラム参加者を中心に、がんの親をもつ子どもとその親に対する心のケアを提供するプログラムを実施。		
日時	2025年12月22日(日)		
場所	東京・目黒／中目黒スクエア		
対象者	5家族(子ども含めて14人)	従事者人員	3人

グリーフサポートプログラム開催

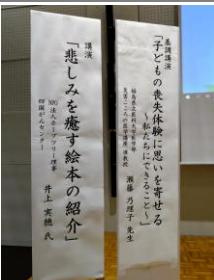
内容	父親や母親など家族をがんで亡くした子ども(6歳～18歳)を対象に、同じような経験をした子どもたちが集まり、自分だけが親をがんで亡くしたわけではないことを知り、また自分の気持ちを表現したり、対処方法を考えたりする時間を持つ。保護者を対象にした大人の語り合いの場も同時に実施。東急子ども応援プログラムの助成による開催。明治安田総合研究所より会場提供や参加者への差し入れなどサポートいただく。		
日時	2024年10月27日(土)および2025年3月23日(土)各13:00～16:00		
場所	東京・市ヶ谷／明治安田総合研究所		
対象者	のべ9家族(子ども10人、保護者9人)	従事者人員	7人
開催の様子	   		

Teen CLIMB® プログラム体験・インタビュー

内容	親や大切な人ががんになってしまったティーンのためのグループ支援(心理社会的介入)プログラムの日本版を完成させるため、かつて親ががんの治療をしていた経験を持つティーンおよび20代を対象に、笹川保健財団研究助成「がん患者を親にもつteenagerを支えるプログラム日本語版の開発」の研究の一環としてプログラムの体験とインタビューを実施。7月実施の医療者向けの講座でのフィードバックと合わせてTeen CLIMB®日本版を完成させる。		
日時	2024年11月3日(日) 9:30～16:00		
場所	東京・御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター		
対象者	子ども11名(13歳～24歳)	従事者人員	5人
	  		

③ がんの患者とその子どもの支援に関する普及啓発事業

Hope Tree フォーラム開催

内容	「子どもへのグリーフケア～大切な人を亡くした子どもに寄り添う」をテーマに Hope Tree フォーラム 2024 を開催。福島県立医科大学 医学部 准教授 濑藤乃理子先生より「子どもの喪失体験に思いを寄せる～私たちにできること～」として基調講演を、理事 井上美穂より「悲しみを癒す絵本の紹介」を講演し、参加者とともに親など大切な人を亡くした子どもの悲しみ、回復過程、その支援について学ぶ場とした。		
日時	2024年10月26日(土)14:00～16:00		
場所	聖心グローバルプラザ(聖心女子大学4号館) ブリット記念ホール		
対象者	一般参加者、医療関係者 88人	従事者人員	5人
開催の様子	  		

ホームページや動画配信による情報発信

内容	あらゆる人を対象とした Web サイト(https://hope-tree.jp/)の運営。患者さんやご家族が治療をながら子育てをする際や医療者が患者さんへ説明する際に参考となる情報など、広く社会に情報発信・普及啓発の内容を含む。		
日時	随時		
場所	全国		
対象者	不特定多数 (医療関係者、患者・患者家族・支援団体など) Web サイト訪問者数: 60,0911 人 ページビュー数: 175,140 回 YouTube 配信動画視聴回数: 4,053 回 ※数値はすべて 2024 年度(1 年間)の累計数	従事者人員	3 人

小冊子の配布による情報発信

内容	4種の小冊子「子どもとがんについて話してみませんか」「がん患者の家族を支える 親が病気の子どもたちの思い」「やさしいがんのお話」「親ががんになったとき 子どものためには学校にできること」を希望者へ発送。																				
	2024年度は計386先(内訳 個人:94人、医療機関:275法人、支援団体等:17団体)へ合計6,046冊の小冊子を発送。送料はHope Tree負担。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>冊子名</th> <th>表紙</th> <th>郵送数</th> <th>PDF DL数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 子どもとがんについて話してみませんか</td> <td></td> <td>2,095冊</td> <td>1426回</td> </tr> <tr> <td>② 親が病気の子どもたちの思い</td> <td></td> <td>1,232冊</td> <td>595回</td> </tr> <tr> <td>③ やさしいがんのお話</td> <td></td> <td>1,578冊</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>④ 親ががんになったとき 子どものためには学校にできること</td> <td></td> <td>1,141冊</td> <td>331回</td> </tr> </tbody> </table>	冊子名	表紙	郵送数	PDF DL数	① 子どもとがんについて話してみませんか		2,095冊	1426回	② 親が病気の子どもたちの思い		1,232冊	595回	③ やさしいがんのお話		1,578冊	—	④ 親ががんになったとき 子どものためには学校にできること		1,141冊	331回
冊子名	表紙	郵送数	PDF DL数																		
① 子どもとがんについて話してみませんか		2,095冊	1426回																		
② 親が病気の子どもたちの思い		1,232冊	595回																		
③ やさしいがんのお話		1,578冊	—																		
④ 親ががんになったとき 子どものためには学校にできること		1,141冊	331回																		
※数値はすべて2024年度の年間累計数																					
日時	随時(申込フォームで随時受付し、希望者へは1週間以内を目途に発送)																				
場所	全国																				
対象者	不特定多数 (患者・患者家族、医療期間、支援団体・機関など)	従事者人員 4人																			

メディアへの掲載を通じた情報発信

内容	各種メディアからの依頼を受け、内容を吟味の上で取材対応を実施。 2024 年度前半は、英国王室キャサリン妃のがん公表を受けて、子どもにどう伝えるかというテーマでの取材依頼が多かった。		
	2024/4/5 NHK ラジオ(N らじセレクト)『がんになった時、子どもにどう伝えるか』		
	2024/4/6 毎日新聞『子どもへのがんの伝え方、キャサリン妃参考に 念頭に「3C」も』		
	2024/4/18 NHK TV(おはよう日本)『がんになった時、子どもにどう伝えるか』		
	2024/5/14 朝日新聞 くらし面『患者を生きる』シリーズ「がんになったママへの手紙」		
	2024/6/14 東急子ども応援プログラム リーダーインタビュー		
	2024/7/14 しんぶん赤旗日曜版『がんになつたら子供にどう伝える?』		
	2024/12/30 朝日新聞 くらし面『2 冊のだいすきノート』		
日時	随時		
場所	全国		
対象者	不特定多数 (新聞の読者、テレビ・ラジオの視聴者など)	従事者人員	2 人

④ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

『JAPAN CANCER SURVIVORS DAY』ブース出展

内容	がん患者・ご家族が必要な支援へたどり着けるように、社会的に重要な役割を果たす患者会や支援団体を広く紹介し、情報を提供するイベント『JAPAN CANCER SURVIVORS DAY2024』(主催:公益財団法人 日本対がん協会)にてブース出展をした。今回のテーマは「がんと診断された方への最初の処方箋 ～わたしらしく生きるために～」であった。
	2024 年 6 月 2 日(日)11:00~16:00
	東京・築地／国立がん研究センター 築地キャンパス 研究棟
	患者・患者家族、支援者等多数(全体来場者 376 人)
対象者	従事者人員
従事者人員	3 人
様子	  

AYA がんの医療と支援のあり方研究会(AYA 研) 学術大会でのシンポジウム開催

内容	第 6 回 AYA 研究会学術大会にて「家族としてのチャイルドサポート」をテーマにシンポジウムを開催した。
	2024 年 5 月 10 日(日) 18:20~19:20
	オンライン
	医療関係者等 50 人
従事者人員	3 人

日本緩和医療学会 学術大会での交流集会開催

内容	第 29 回日本緩和医療学会学術大会にて「終末期の家族支援 ～親を亡くす子どもに対して私たちは何ができるのだろう～ Part 3」をテーマに交流集会を開催した。		
日時	2024 年 6 月 14 日(土) 18:20～19:20		
場所	兵庫・神戸／神戸国際会議場・神戸国際展示場		
対象者	医療関係者等 60 人	従事者人員	4 人
開催の様子	  		

日本教育心理学会 総会での講演

内容	日本教育心理学会 第 66 回総会 会員企画シンポジウムにて、「様々な逆境下において子どものレジリエンスを支えるにはー予防から回復までー」をテーマに講演を実施。		
日時	2024 年 9 月 15 日(日) 15:30～17:30		
場所	静岡・アクシティ浜松 コングレスセンター		
対象者	教育心理関係者等 50 人	従事者人員	2 人

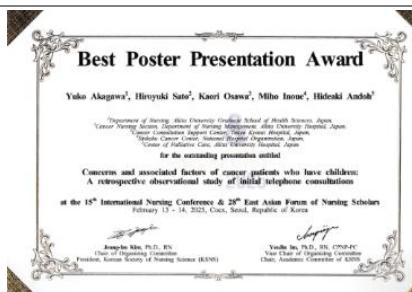
日本死の臨床研究会 年次大会でのセミナー開催

内容	第 47 回日本死の臨床研究会 年次大会にて、講演「がんになった親の子どもたちのサポート」、ワークショップ「がんの親をもつ子どものためのサポートプログラム CLIMB®」および「親の死が近い子ども、および親に対する バラフライ・プログラム ～ さよならをいうことつながりを想い出せること～」を開催。		
日時	2024 年 10 月 12 日(土)・13 日(日)		
場所	北海道・札幌コンベンションセンター		
対象者	医療者関係者等 約 300 人 (講演:150 人、CLIMB WS:80 人、バタフライ WS:70 人)	従事者人員	4 人
開催の様子	  		

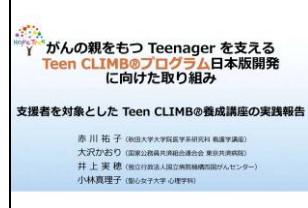
東北広域次世代がんプロ養成プラン秋田大学での講演

内容	東北広域次世代がんプロ養成プラン秋田大学ワークショップ「親との死別が避けられない子供を支えるワークショップ」の中で下記 2 講演と事例検討を実施した。 講演①「子どもをもつ終末期がん患者・家族のアセスメントとアプローチ」(井上) 講演②「子どもとの関わり方・アクティビティ体験」(大沢)		
日時	2024 年 12 月 14 日(土) 10:00 ~16:00		
場所	秋田大学医学部保健学科 アクティブラーニング室		
対象者	医療関係者・医療系学生など 25 人	従事者人員	2 人
開催の様子	  		

東アジア看護学研究者フォーラムでの発表

内容	28th EAFONS 2025／第 28 回 東アジア看護学研究者フォーラム 2025 にて「Concerns and associated factors of cancer patients who have children:A retrospective observational study of initial telephone consultations」にてポスター発表を実施。 この発表でベストポスタープレゼンテーション賞を受賞。 論文は <u>Hope Tree</u> ウェブサイト(研究成果ページ)にも掲載。		
日時	2025 年 2 月 13 日(木)、14 日(金)		
場所	韓国・ソウル		
対象者	医療(看護)関係者等 多数	従事者人員	1 人
開催の様子	 		

日本がん看護学会学術集会での発表

内容	第39回日本がん看護学会学術集会(札幌)にて、『がんの親をもつTeenagerを支えるTeen CLIMB®プログラム日本版開発に向けた取り組み～支援者を対象としたTeen CLIMB®養成講座の実践報告～』の口頭発表を実施。 論文はHope Treeウェブサイト(研究成果ページ)にも掲載。		
日時	2025年2月22日(土)、23日(日)		
場所	北海道・札幌市教育文化会館 他		
対象者	医療(看護)関係者等 多数	従事者人員	1人
開催の様子	  		

中部国際医療センター主催 がんに関する講演会での講演

内容	中部国際医療センターによる国立がん研究センターがん情報ギフト「結ぶ」事業として、「家族ががんになったとき、子どもは？」と題して市民向けに講演を実施。 家族ががんになった時の子どもの気持ちや反応、子どもへの病気の伝え方を説明するとともに、Hope Treeの活動や提供情報などについてお伝えした。		
日時	2025年3月8日(土) 13:30～14:40		
場所	岐阜県美濃加茂市 東図書館		
対象者	一般市民を中心に32名	従事者人員	1人
開催の様子	  		

日本グリーフ＆ビリーブメント学会 学術大会でのシンポジウム登壇

内容	第7回日本グリーフ＆ビリーブメント学会学術大会にて、シンポジウム「子どものグリーフへの支援」に演者として登壇し、Hope Treeの活動を紹介した。		
日時	2025年3月15日(土) 14:00～15:30		
場所	大阪市立総合医療センター		
対象者	医療・教育・宗教・NPO関係者等 多数	従事者人員	1人

国際ジャーナルへの論文掲載

内容	“International Journal of Science and Research Archive”へ CLIMB 開催の効果に関する論文「Practical report on the CLIMB® program for supporting parents with cancer and their children」、子育て中のがん患者が子どもにがんを伝えることに関する論文「Cancer disclosure to children by parenting patients: A retrospective observational study in Akita Prefecture, Japan」の 2 本を Hope Tree メンバーが投稿し、受理・掲載された。論文は Hope Tree ウェブサイト(研究成果ページ)にも掲載。		
日時	— (論文受理日はそれぞれ 2025 年 1 月、同年 3 月)		
場所	—		
対象者	医療関係者多数	従事者人員	4 人

以上